

地球科学概論		講義	非常勤講師 新井 健司
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200118

1. 授業のねらい・概要

近年、日本では大地震や火山噴火が相次ぎ、活発な地殻変動による地盤災害への警戒が強くなっている。一方、全国各地のジオパークの誕生に見られるように、貴重な地形や地質現象について人々に知ってもらおう活動も盛んである。この授業では、地球が見せるさまざまな現象について解説し、その研究手法と成果を紹介する。教養としての知識のみならず、自然科学研究の発想や理論の展開なども学べる機会を提供する。

2. 授業の進め方

教室で、板書・画像映写を併用した口頭説明による対面式授業を行う。

3. 授業計画

1. 宇宙の中の地球	9. 地震と断層
2. 太陽系と地球の誕生	10. 地震の観測、地震の大きさと種類
3. 地球の構成	11. 沈み込むプレート付近で起きる地震、活断層
4. 地球内部の調査	12. 地震に伴う現象（津波・地殻変動・液状化）
5. 大陸移動説	13. 予想される巨大地震、マグマの発生と火山活動
6. 極移動と地磁気の逆転	14. 噴火の種類としくみ、活火山と火山フロント
7. 海洋底拡大説とプレートテクトニクス	15. 活火山の分布とプレート運動、火山災害への備え
8. マントル対流とプレート境界で起きる現象	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次回のテーマについて、書籍・科学雑誌などで予備知識を持っておくと理解しやすい（約1時間）。テレビ・新聞等の関係報道にも注意するようにしてもらいたい。授業後はノートを見直して、復習をしておくこと（約1時間）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

第5回と第10回の授業時に小テストを実施し、講評を付けた答案を返却する。理解度の確認と学修方法の見直しに役立ててもらおう。

6. 授業における学修の到達目標

地球（主に固体地球）に関する総合的な知識と研究の思考法について、理解されることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

試験（70%）、受講態度（30%）をもとに、成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

テキストは指定しないが、地名の確認のため、地図帳（日本・世界、何れの出版社のものも可）を用意するとよい。

9. 受講上の留意事項

授業には毎回出席し、やむを得ず欠席する時は、必ずメールで連絡すること。成績上、欠席理由に配慮する場合もあるが、病欠も含めた総欠席数が多い場合は、単位認定を行わない。なお、試験には十分に準備をして臨んでもらいたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。